

令和5年度鹿児島市教育研究会「小・中連携研修会」(東谷山中グループ)

1 ねらい

鹿児島市では、次のような目的で中学校区ごとにグループを組み、毎年研修を行っています。

小学校と中学校が連携を深め、9年間の学びの連続性を追求することを通して、小・中学校の円滑な接続及び、確かな学力の育成や生徒指導等の充実を図ることを目的とする。

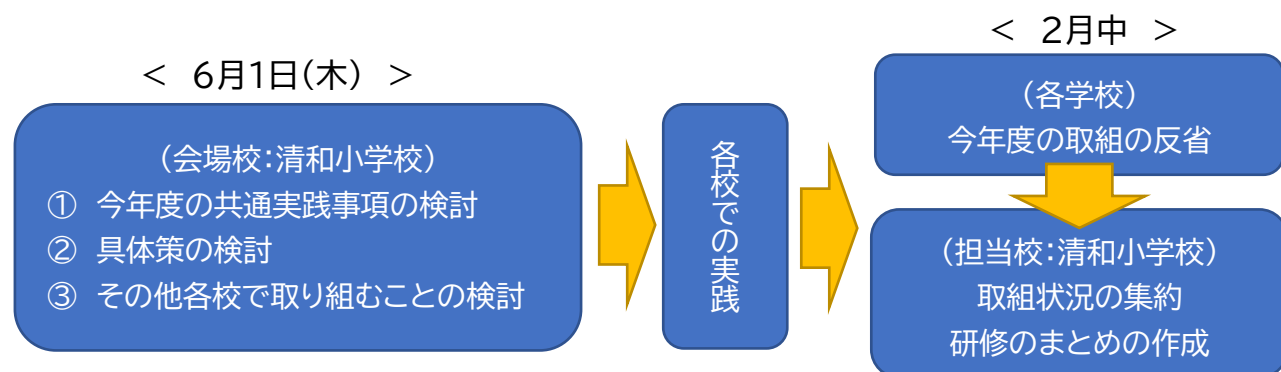
今年度、東谷山中学校グループ(東谷山中・清和小・東谷山小)の研修は、清和小が担当です。

2 研究主題

小学校から中学校への円滑な接続を図るためにはどうすればよいか。

3 研修の進め方

令和4年度は感染防止対策のために、各学校で共通実践事項について実践を行う研修としましたが、令和5年度は、会場校(清和小)に集まって授業参観や共通実践事項の検討、意見交換等を行い、共通実践事項を設定し、その後各学校で実践を行う形で研修を進めることにしました。



4 今年度の共通実践事項

今年度、東谷山中学校グループでは、次の4つの分科会で共通実践事項を設定して各校で取り組むこととしました。

【共通実践事項(学習指導)】

- ① 二着一黙(中学校では2分前着席1分間黙想, 小学校は実態に合わせて時間配分の設定)
- ② See-Smile に共有フォルダを作成し, 教材や授業データの共有
- ③ 家庭学習の習慣化

【共通実践事項(生徒指導)】

- ① 学校間の情報共有

【共通実践事項(特別支援教育)】

- ① 情報交換の実施(夏季休業中, 春休み)
- ② ふれあい学習, ふれあい体験の実施
- ③ 小・中学校間でのこまめな連携

【共通実践事項(外国語活動・英語科)】

- ① 自分の名前をヘボン式で書けるようにする
- ② See-Smile に共有フォルダを作成し, 教材や授業データの共有
- ③ 授業開始の挨拶の共通実践